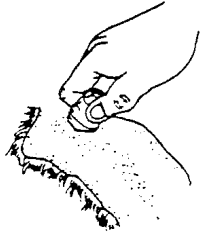
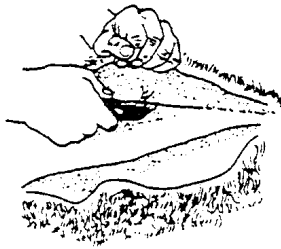


第4図 石器の使い方



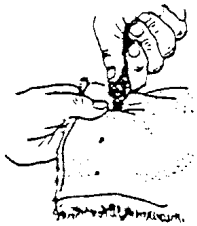
▲エンド・スクレーパー(搔器)で皮をなめす



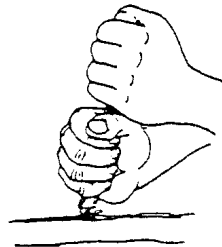
▲ナイフ形石器で動物を解体する



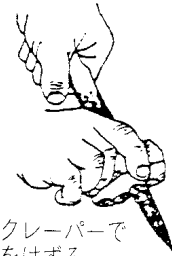
▲チョッピング・ツール(両刃礫器)で木を切る



▲ドリル(錐)で皮に孔をあける



▲彫刻刀形石器で骨に溝を掘る



▲スクレーパーで木をけずる

(『旧石器時代の東北』 1981より)

### 住まいと集団

旧石器時代のはっきりした住居跡の発見例は極めて少ないが、形態としては、①遺跡面に石器の塊(テロック)や礫群を残すが、住居としては明確でないもの、②地表を浅く掘りくぼめ(堅穴)、柱穴の見られるものなどが報告されているが、②の例として、はさみ遺跡(大阪府藤井寺市)・椎ノ木山遺跡(北九州市若松区)などがあり、これらは約二万年前の住居跡と推定されている。

鈴木忠司氏はこの時代の住居の形態を「地表面に簡単な支柱を配し、上屋を獣皮や植物で覆っただけの軽構造の施設に起居していたことを強く推測させる」としている。また集団などについて稲田孝司氏は「石器ブロックや礫群のありかたなどから数人から十数人の居住を推測し、居住期間は数日から数週間程度でそれほど遠くない場所へひんぱんに移動したであろう」と述べている。

### 二 身近にある旧石器時代の遺跡

犀川町域からは現在まで旧石器時代の遺跡は発見されていないし、また地表での石器採集などの報告も見当たらない。京築地方全体を眺めてもこの時代の遺跡は極めて少なく、石器などが偶然に採集されて確認された遺跡が多い。また住居跡の出土もないために当時の生活のようすなどは明らかにできない。したがって犀川町と比較的に近い位置にある遺跡について見ることにする。

#### (一) 富久遺跡(苅田町富久町一丁目)

本遺跡は苅田町役場の北西約五〇メートル、海拔一〇〇〜一二メートルの間に位置

し、平成二年（一九九〇）に土地開発に伴う事前調査で出土した古墳一五基と溝状遺構及びピットからなる遺跡である。調査区のほぼ中央の地山直上より旧石器時代のナイフ形石器が出土した。石器は安山岩製で、長さ七四・一ミリ、幅二二・五ミリ、厚さ一三・五ミリを測る。（第5図の1の1参照）

参考・引用文献：刈田町教育委員会「富久遺跡Ⅱ地区」刈田町文化財報告書 第十七集 一九九二、豊前市『豊前市史』考古資料別刷 一九九三

## (二) 鬼熊遺跡（行橋市南泉）

行橋市南部で西に八景山山塊を望む平野部の微高地に位置する。行橋市の圃場整備に伴い平成三年六月から十二月まで行った調査で発見された弥生時代から古墳時代を中心とした遺跡で、弥生時代中期の住居二軒、貯蔵穴四〇基と古墳時代中期の住居一二軒それに中世の土壇二、溝一が出土している。旧石器時代のナイフ形石器は弥生時代の住居の埋土の中から発見されたものである。素材はチャート（茶色）で最大長四・



写真1 鬼熊遺跡出土石器  
（行橋市教育委員会提供）

三五・一ミリ、最大幅一・六センチ、最大厚五・二ミリを測る。後期旧石器時代の初頭のものとして推定されている（写真1参照）。なお、旧石器時代の遺構などは発見されていない。しかし、隣接する場所からもチャートの石屑が採集されており、弥生時代の開発で旧石器時代の遺構の破壊も考えられる。

## (三) 長養池遺跡（京都府豊津町）

豊津町北部の長養池西岸中央部で、錦原台地北部の東側の縁が八景山山麓付近で池にやや突出した部分に当たり、標高は約三〇メートルの位置にある。遺物は極めて小型のナイフ形石器で、地表面から採集されたものである。最大長二・〇センチ、最大幅一・四センチ、最大厚〇・七センチを測る。黒曜石の縦長剥片を素材とし、打面部と剥離末端部、それに一側の三面に刃潰し加工を行っている。刃潰し加工はすべて主要剥離面から行われており、側面部はやや外湾し、刃部は剥片の鋭い辺縁を利用して斜めに作り出されている。このようなナイフ形石器は、ナイフ形石器文化の中でも終末期的な様相を示すものに多く見られるもので、この石器もほぼ同様のものと考えられる。（第5図の1の2参照）

## (四) 石並遺跡（行橋市稲童）

長井浜に近く、観山の東北部山麓が砂丘と接するあたりの洪積台地先端部に位置する。石器は地表面から採集されたものであるが、遺跡そのものの性格は不明である。3は二・三×一・三センチの台形様石器もしくはナイフ形石器。4は長さ二・八センチのナイフ形石器。5は長さ四・八センチの石核。6は長さ四・五センチの縦長剥片で、背面に二か所、主要剥

離面に一か所ノッチ加工が施されている。(第5図の1の3・4・5・6参照)  
 (石器については、『豊前市史』より引用)

(五) 十双遺跡 (築上郡築城町赤幡・広末)

本遺跡は縄文・弥生・古墳時代初期各期にわたる集落跡で、椎田バイパス建設に伴う事前調査として福岡県教育委員会が平成元年から翌年にかけて発掘調査し出土した。本遺跡の第二土壌(弥生前期)の東隣小ピット中より旧石器時代の可能性の強いとされる打製石槍が出土した。安山岩製で全長一六・三センチ、最大幅二・八センチ、最大厚二センチを測る。(第5図の2の1参照)

参考・引用文献：福岡県教育委員会「椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告書」8 下巻 十双遺跡 一九九二

(六) 後谷遺跡 (築上郡椎田町)

遺跡は英彦山山系より北東に向かって延びる支脈の一つで、小山田川と岩丸川に挟まれた舌状台地の先端部近くの後谷池岸に位置する。採集された遺物は黒曜石の縦長剥片を素材とするナイフ形石器で、最大長二・八センチ、最大幅一・四センチ、最大厚〇・五センチを測る。両側縁に刃潰し加工が認められる。刃潰し加工は主に主要剥離側から行われているが、一部は大剥離面からも行われている。さらに主要剥離面の基部にはバルブをインパースリタッチによって除去しており、基部をより薄く整形した意図が窺える。また大剥離面には二次的な原因による細長い欠損面が見られる。このナイフ形石器は両側縁と基部に加工が集中していることなどから、いわゆる「茂呂系ナイフ形石器」に類するものと考えた

い。(第5図の1の7参照)

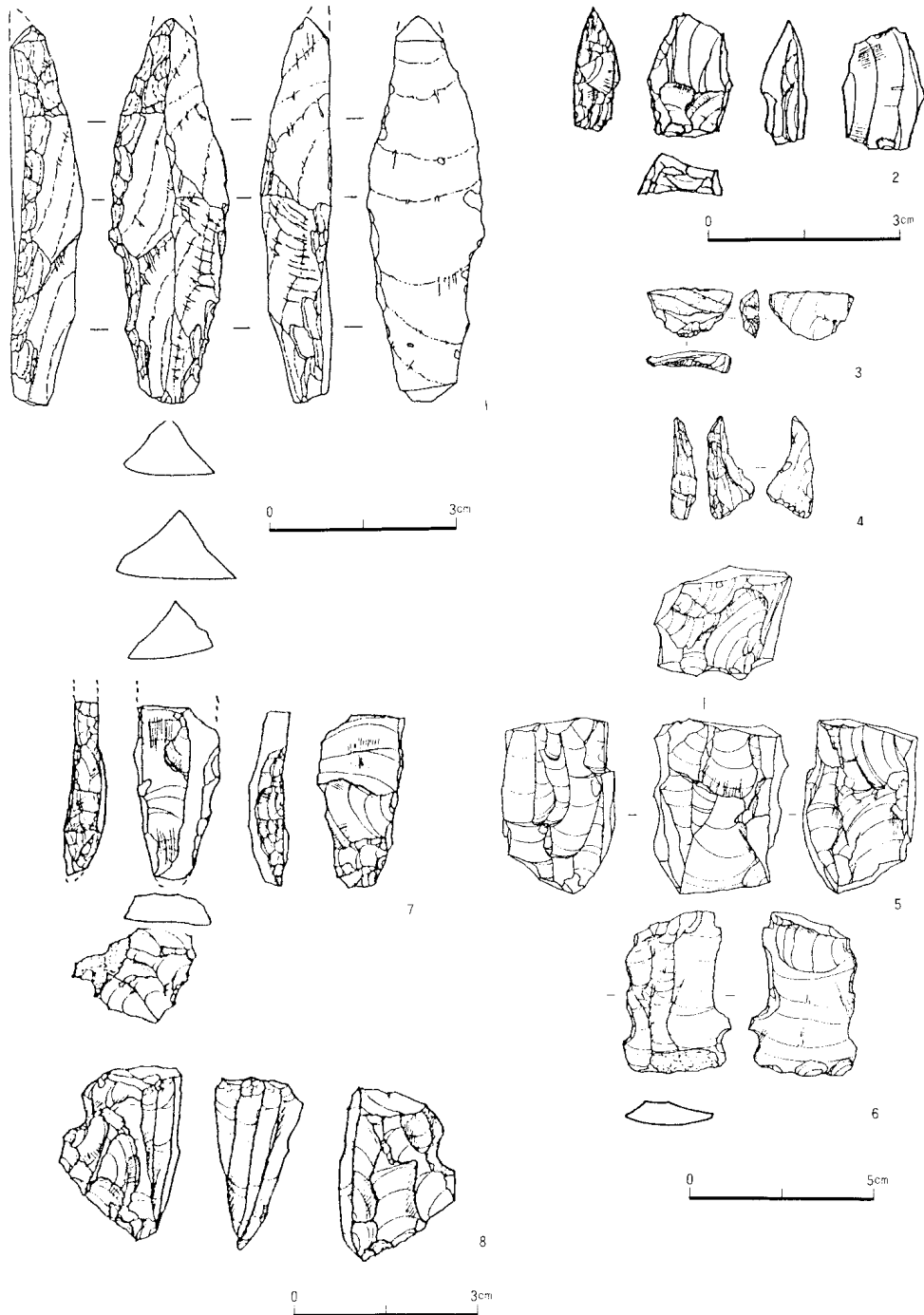
(七) 原池遺跡・出口遺跡 (築上郡椎田町)

遺跡は英彦山山系より北北東に向かって延びる支脈が作る舌状台地の先端部近く、標高約一五メートルの原池岸に位置する。採集された遺物は黒曜石を素材とする最大長二・八センチ、最大幅一・九センチ、最大厚一・五センチの小型の舟底形細石核とよばれるものである。側面調整は主に下縁部から行われており、b面には鱗状剥離が顕著である。打面は調整打面であるが、打面縁調整は認められない。背面には若干の自然面を残している。このような細石核は後期旧石器時代でも終末の細石器文化に特徴的なものであり、西北部九州では縄文時代早期初頭まで存続する。(第5図の1の8参照)

出口遺跡は原池遺跡の東約二〇〇メートルで、標高四〇メートルの洪積台地の先端部に位置する。ナイフ形石器が出土している。

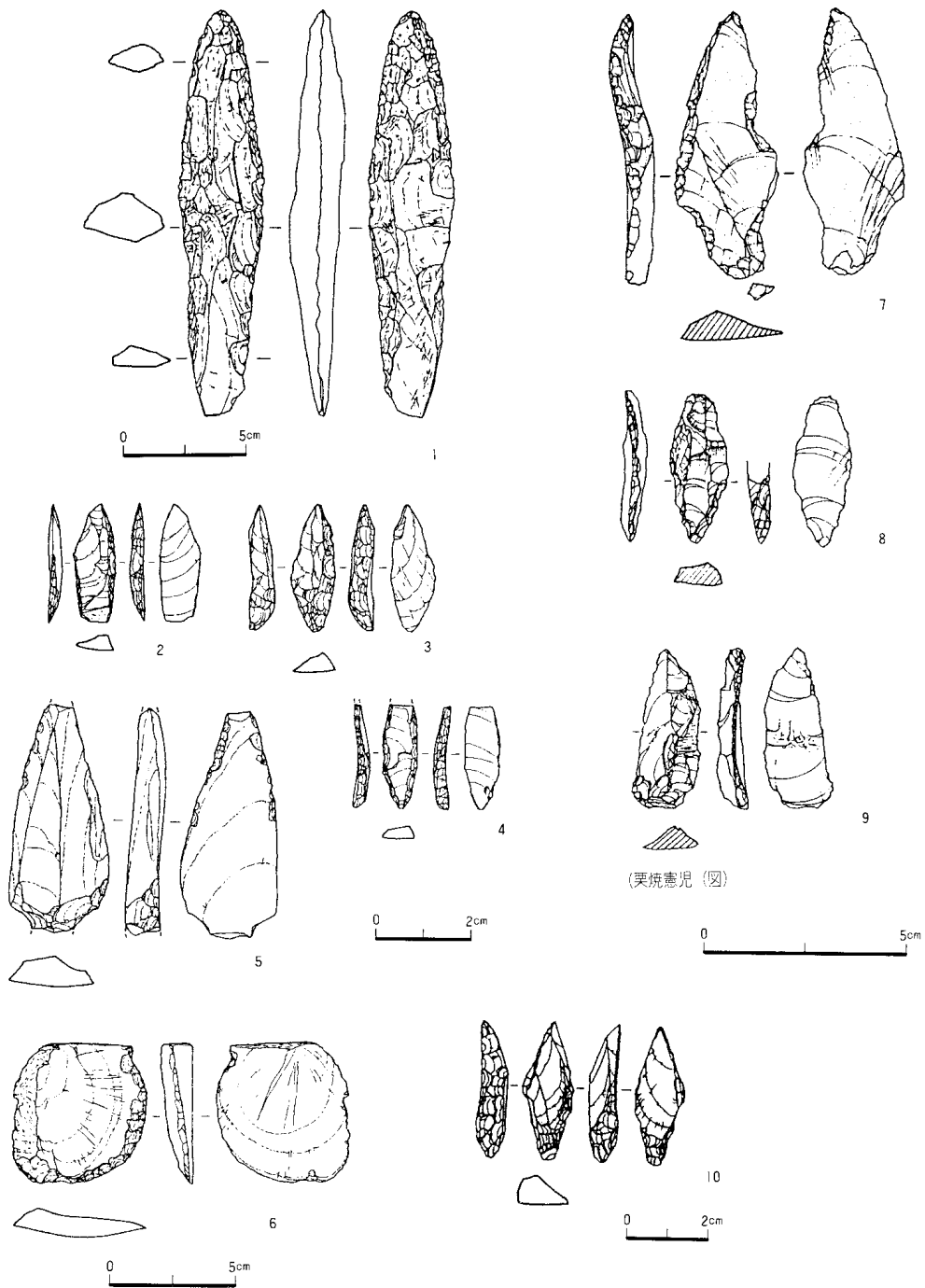
※身近にある遺跡(白(代)については、豊前国府・国分寺調査研究会報『とよ』7号(昭和五十六年)所載の「京築地方の旧石器について」栗焼憲見を参考にし、考察文から引用した。

第5図の1 京築地方出土の旧石器(1)



1 富久遺跡 2 長養池遺跡 3、4、5、6 石並遺跡 7 後谷遺跡 8 原池遺跡  
 (1は『豊前市史』資料編 豊前市 1993より 2、7、8 栗焼憲児図 3、4、5、6 平ノ内幸治図)

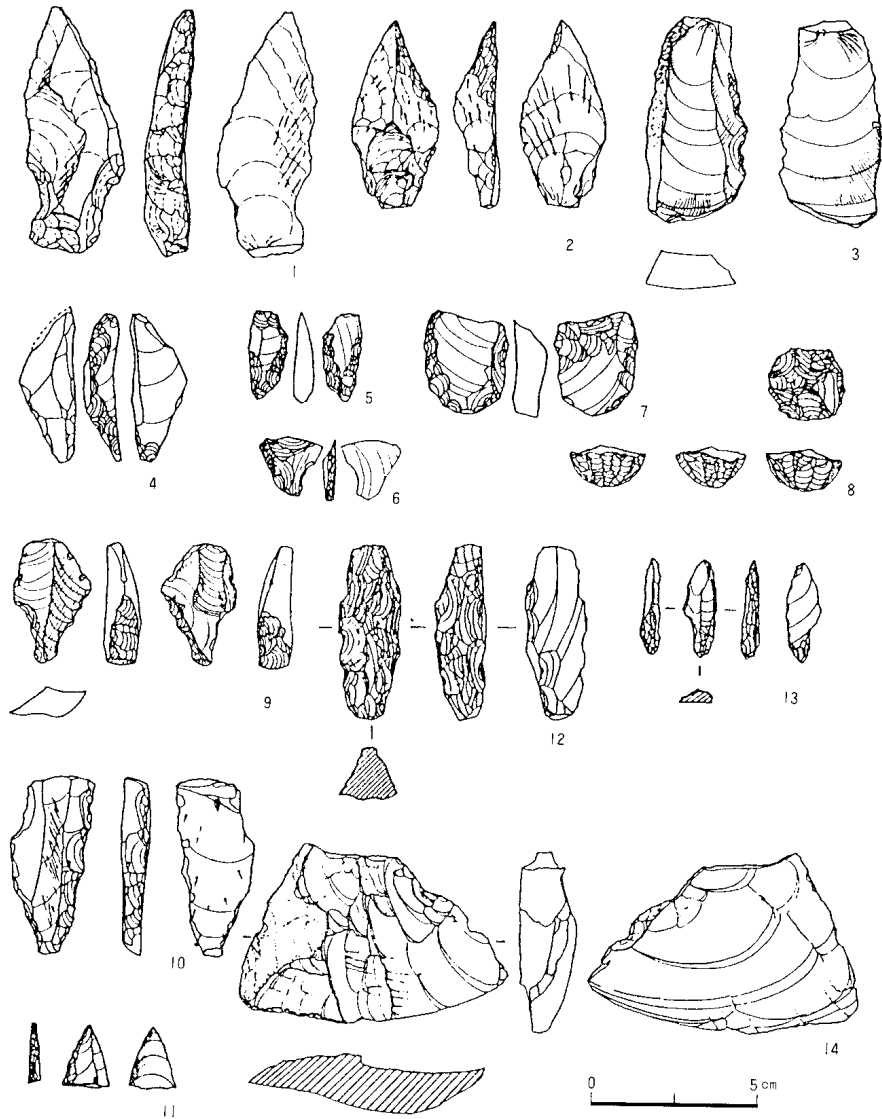
第5図の2 京築地方出土の旧石器(2)



- 1 十双遺跡 2、3、4、5、6 青畑向原遺跡 7 上の熊遺跡 8 桑野遺跡  
 9 金居塚遺跡 10 にごり池遺跡

[1は福岡県教育委員会「椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告書」8下巻「十双遺跡 1992より」  
 2は『豊前市史』資料編 豊前市 1993より 3、4、5 栗焼憲児図]

第6図 宇佐・下毛地方の旧石器



1～3 小倉池遺跡 4 向山遺跡 5～7 台ノ原遺跡 8 四日市遺跡 9 御幡遺跡 10 西和田貝塚 11 野口遺跡 12、13 大坪遺跡 14 才木地区遺跡  
 (『大分県史』1983より)

第2表 周防灘沿岸の旧石器時代遺跡一覧

地番 図号	遺跡名	所在地	出土品
1	長行遺跡	北九州市	細石刃核
2	砥石山遺跡	〃	ナイフ形石器、尖頭器、スクレイパー
3	菊水町遺跡	〃	ナイフ形石器
4	長野八遺跡	〃	台形石器
5	富久遺跡	刈田町富久町	ナイフ形石器
6	鬼熊遺跡	行橋市南泉	ナイフ形石器
7	長養池遺跡	豊津町国作	ナイフ形石器
8	石並遺跡	行橋市稲童	ナイフ形石器、石核
9	川ノ上遺跡	豊津町徳永	ナイフ形石器
10	十双遺跡	築城町赤幡・広末	打製石槍
11	後谷遺跡	椎田町	ナイフ形石器
12	原池遺跡	〃	舟底形細石核
13	出口遺跡	〃	剥片
14	吉木遺跡	豊前市吉木	ナイフ形石器
15	青畑向原遺跡	〃 青畑	ナイフ形石器、剥片尖頭器、スクレイパー
16	下唐原遺跡	大平村下唐原	細石核
17	上の熊遺跡	〃	剥片尖頭器
18	桑野遺跡	〃	ナイフ形石器
19	金居塚遺跡	〃	ナイフ形石器
20	にぎり池遺跡	〃	ナイフ形石器
21	池田池遺跡	〃	細石刃核
22	大坪遺跡	中津市	三稜尖頭器、ナイフ形石器
23	才木遺跡	〃	剥片
24	西和田貝塚	宇佐市	ナイフ形石器
25	桐ヶ迫遺跡	〃	細石刃核
26	峯添遺跡	〃	ナイフ形石器
27	正布迫遺跡	〃	ナイフ形石器
28	小倉池遺跡	〃	ナイフ形石器、剥片尖頭器など
29	台ノ原遺跡	〃	ナイフ形石器、台形様石器
30	四日市遺跡	〃	細石刃核
31	向山遺跡	〃	ナイフ形石器
32	切寄遺跡	〃	ナイフ形石器
33	御幡遺跡	〃	ナイフ形石器
34	野口遺跡	〃	ナイフ形石器
35	高森城本丸遺跡	〃	ナイフ形石器

第7図 周防灘沿岸の旧石器時代遺跡



- 1 長行遺跡
- 2 砥石山遺跡
- 3 菊水町遺跡
- 4 長野A遺跡
- 5 富久遺跡
- 6 鬼熊遺跡
- 7 長養池遺跡
- 8 石並遺跡
- 9 川ノ上遺跡
- 10 十双遺跡
- 11 後谷遺跡
- 12 原池遺跡
- 13 出口遺跡
- 14 吉木遺跡
- 15 青畑向原遺跡
- 16 下唐原遺跡
- 17 上の熊遺跡
- 18 桑野遺跡
- 19 金居塚遺跡
- 20 にごり池遺跡
- 21 池田池遺跡
- 22 大坪遺跡
- 23 才木遺跡
- 24 西和田貝塚
- 25 桐ヶ迫遺跡
- 26 峯添遺跡
- 27 正布迫遺跡
- 28 小倉池遺跡
- 29 台ノ原遺跡
- 30 四日市遺跡
- 31 向山遺跡
- 32 切寄遺跡
- 33 御幡遺跡
- 34 野口遺跡
- 35 高森城本丸遺跡